

恋人が綴った、

けんけん

西村賢太との

3547日

けんけん

私のせいで西村賢太が殺された

との認識が、突然背後から鈍器で殴りかかってきた——

瞬間、左のみぞおちが反り返るようにグググと引き攣って、

洗面台に駆け寄って嘔吐^{えず}していた——

『西村賢太殺人事件』の爆誕である。

生きていて
ほしかった

西村賢太

恋人が綴った、
けんけんとの

3547日

小林麻衣子

殺人事件

飛鳥新社
定価1,900円(税込)

『西村賢太殺人事件』小林麻衣子 著 飛鳥新社